

## 第67回市民ふれあいトーク 【一緒に考える このまちの地域力】

日時 平成28年11月9日 18:30~20:00

場所 玉島東公民館

### 要約版

#### 《市長》

皆さん、こんばんは。今日は、玉島東公民館で市民ふれあいトークということで、久しぶりにこちらの公民館にあがらせていただきました。前に伺わせていただいた時は交流センターができるちょっと前だったと思います。また、皆さんには夕方、時に寒い中に出て来ていただきまして、本当にありがとうございます。一緒に考えるこのまちの地域力として、最初に少し私がお話をさせていただいて、それで意見交換という形にさせていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。

まず、今日アメリカの大統領選挙がありまして、さっきトランプさんが勝利宣言をされていきました。今後どうなっていくのかということが、日本政府のみならず、全世界の人が注目されているんじゃないかと思っています。当然政権などもいろいろ代わられるでしょうけど、日本にとってアメリカというのは非常に大切な国ですし、今後の動向を注視していかないといけないと思いますが、私も結構びっくりはいたしました。

そして、今日の話ということで、朝の情報番組、RNCの「スッキリ!!」という番組で、児島でジーンズのことを30分ぐらいTVに出たんですけど、見られた方、いらっしゃいますか？5人くらいいらっしゃいますね。児島のジーンズの産業のことが、昨年ちょうど国産ジーンズが児島で始まって50年ということで、その辺りからかなり全国的に注目されるようになりまして、今回も30分番組くらいで取り上げてくださって。もともと綿花は玉島地区で備中綿の製造が非常に盛んで、地域の皆様がいろいろ取り組んでいただいていますけれど、今事業としては児島の方が有名ななということがありまして。また観光客も倉敷に来てくださるのではないかなと思っています。

さて、倉敷市にとりまして、今年は大きなことがいくつかありました。私にとりましては、5月に3期目の市長として就任をさせていただきまして、こうやってまた皆様の前にふれあいトークで参加できておりますことに感謝を申し上げますとともに、倉敷市には今年サミットの文部大臣会合を5月に誘致することができまして、世界の方がこの倉敷市に来られたということが、今年の倉敷の十大ニュースは何か、といえば、一番になるんじゃないかと思っています。G7各国の大臣たちが来られて、移動の関係で玉島まで足を伸ばしてもらうことはできなかったんですけど、各国の皆さんに持って帰っていただいたお土産の中に、玉島の手まりを入れさせていただきました。倉敷からは倉敷ガラスの花瓶を、児島からはジーンズ地の敷物を、玉島からは良寛さんの手まりを入れました。女性部の皆さんが手作りで作って下さったものを各国の大臣室にこういうふうにご覧いただきと写真を付けて。手まりの下に、女性部の方が着物のきれでおざぶを作ってくださいましたし、倉敷市というところは歴史があるまちだと、世界の皆さんに思っただけだと思っています。

また、歴史があるということにつきましては、先日も10月29・30日に乙島祭りにあがらせていただきまして、地区の皆さんに大変お世話になり、今年はお天気もよく12町内の皆さんが伝統を守って活動をしていただいておりますことに敬意を表する次第でござ

ざいます。倉敷市が誇る乙島祭り。児島ですと鴻八幡さまも、それぞれ歴史を守って、伝統を引き継いでいただいていることに感謝を申し上げます。今日は海外のことにも関心を持ってくださっている方がいらっしゃることを聞いております。海外の方も乙島祭りのことを聞いたらびっくりすると思いますし、それぞれの町内に千歳楽やお船とか、だんじりとか、最後の方のやっことか鬼とか、獅子舞のお披露とか、そういうのが夜も遅いんですが、海外の方も来てくださったらいいなと思っています。

さて倉敷市、おかげさまで市全体としては人口が増えています。ただ玉島地区としては、ほぼ横ばい、少しは減ってはいるんですけど、県内でも市全体として人口が増えているのは岡山市と倉敷市、あと総社も少し増えてるんですけど、そのぐらいしかありませんので。なんとか岡山県内全体としても、倉敷市と岡山市が一生懸命頑張ってそれぞれの流域、こちらは高梁川の流域、この倉敷市が頑張らないといけない。東の方は岡山市が頑張っていないといけないと思っている次第でございます。倉敷市としては人口がこれからも何とか、せめて横ばい、もちろん増えればいいんですけど、なかなかそうもならないかもしれません。そのためには子育て支援に力を入れるということ、それから皆様がお元気で長生きしていただくということ、それと仕事の面で、街中で産業が活性化していくところに力を入れていきたいと思っています。そういう面で、地元の商工会議所の皆さんや事業所の皆さんが頑張っていることを一緒に取り組んでいきたいと思っています。

それから最後に、先日も鳥取の方で地震がありましたし、熊本でも大きな地震があったりということで、今後30年以内に大きな地震が起きる確率というのは、70%近くに上がってきているわけですので、常日頃から準備をしていかなければいけないということで、例えば皆さんに毎年の防災訓練をお願いしたり、自主防災組織とか地域の組織の取り組みをしていただいたりということをお願いしているところです。

いろいろ申し上げましたが、当玉島東公民館の所在する玉島、上成、それから乙島小学校、東小学校の学区につきましては、本当に地域のコミュニティ、地域の町内のつながりが強く頑張らせていただいておりますので、今後とも引き続きよろしく願いできればと思っています。

それでは、今日これからの時間は、地域のことでも、今私が申し上げたことでも、何でも結構ですので、この地域のことだけでなく、倉敷市全体のことでも、自分の地域ではこういうことに力を入れているとか、もっとこういうことを地域としては、市全体としては前に押し出した方がいいんじゃないとか、そういうご意見がありましたら是非教えていただければありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### 《参加者 A さん》

質問ですが、私の立場は商工会議所観光開発委員長として、この日曜のふるさと物産展を取り仕切ります。28回目。初めて交流センターの方へ移りますが、その理由の一つは駐車場がない。昨年支所でやりましたが、文化センターで600人規模。交流センターも武道館で柔道大会。医師会館の駐車場は柔道が押さえていて、その交流センターと支所の通路は両側にガードマンが車を止めて動かなくなっている。それでケンカになったり、「止められるところがないなら帰る」ということがあって。なおかつ今玉島小学校が耐震工事で2年間臨時駐車場が使えない。そういうこともありまして、この日曜は、交流センターで初めてやります。それを担当しますと思うのが、やはり文化ゾーンですね。文化

センターもあり、交流センターもある。その駐車場の拡張計画というか、何かあるのかなのか、ご質問したいと思います。よろしくお願ひいたします。

#### 《市長》

今現状では、まだ拡張計画はないんです。ただ、駐車が混むというお話はいただいています。もともと市民交流センターがなかったので、文化センターに用事がある時は支所に皆さん止められてたんですけど、今度はその文化センターの人が、市民交流センターの方が近いから、止めたりして、市民交流センターの人も駐車が困る、大きな行事があったりしたらですね。文化センターの人も混んだ時は、本当は支所の方に止めていただければいいんですけど、近い方がいいということになっていまして、さっき言われたように、交流センターと文化センターの管理をお願いしている所が違うということなどもありまして、なかなかうまくいっていないということがあると思います。それからもう一つは支所の駐車場を今余裕をもって区画を区切つてあるということは、市議会でも質問をいただいていますし、市としても問題意識を持っているんですけど。今は、議会からのご指摘もいただいて、検討している状況です。ですので、今はないんですが、市としても混み合いの状況については、問題意識は持っております。ふるさと物産展、行きますので。

#### 《参加者Bさん》

乙島祭り保存会の者です。先日はご臨席をいただき、ありがとうございました。乙島地区は、乙島祭り、戸島神社秋季例大祭、これによって各町内の協調性、それと団結力、町内と町内、そして地域の団結力、これらの団結力は、市長さんがおっしゃる災害時、これは自助に加えて共助につながるんじゃないかなと思っております。今日は防災について市の取組みについてお尋ねしたいんですが、今後30年以内に南海トラフを震源とする地震が発生するという想定で総合防災訓練を行っておりますが、私事でちょっと恐縮なんですけど、中山町内の会長と防災隊長を10数年やっておりますが、この乙島地区で最初に自主防災を立ち上げたのはうちの町内でございます。その時は、岡山県は災害が少ないということで、自主防災組織を立ち上げると言ったら、みんなは「そんなものは必要ないだろう」と。そこで県や市の推奨に基づいて立ち上げたわけなんですけど。それで今、年1回、4月に防災訓練と倉敷市の総合防災訓練、その時に町内と地区、乙島小学校のコミュニティ、こっちの方も訓練に参加しているんですが、総合防災訓練は、市から告知メールが入ってその後拡声塔からの情報提供で訓練にかかるわけなんですけど、私たちの地区は中央分団1部の機庫にあるんですが、拡声器がまだ鳴ったことがないんです。月に1回、鳥の声は聞こえるんですけど、本番は一度も鳴りません。この前の鳥取地震の時も鳴らなかったです。それで毎年苦情を言ってる。いまだに修理されてないんで。それでコミュニティのほうへ確認したら、修理するので予算がない、ということで今年はダメだ。来年も難しいと。今子育てとか、待機児童ですか、そこらも必要ですけど、この防災関係、命に係わることなんで、優先的に取り組んでいただきたいなと。市の取組みは甘いんじゃないかなということで。今日は市長さんにそこらの職員の教育を徹底を願ひたいなということで、質問と願ひということで、よろしくお願ひいたします。

#### 《市長》

よく調べてお返事いたします。鳴らなかったら困りますので。ほかに防災の事である方は。

### 《参加者 C さん》

小高地地区のCと申します。土木（委員）を担当していますけれど、ご案内のようにこの地区、海拔0.5m、津波が来ますと3時間後には3mの波が来ると言われております。市の防災訓練の組織を立ち上げまして、先般も町内で訓練を行いました。私どもの町内には、真中を太い道路が通っておりまして、その道路を通過して避難場所の乙島小学校に避難することになっておりますが、いかんせん日中ですと子どもは学校へ、青年は仕事で出払って、まさに後期高齢者ばかりが残った地区になるんですが、もし津波が来るとなると、近くに小高い山があればそれに逃げるのが一番だというふうになっておると思うんです。私どもの地区では残念ながらお年寄りを連れて山に上がる道がございません。あっても、階段のある俗に昔、赤線と呼ばれていた90cm足らずの道しかないんですが、その道も今現在は草がぼうぼうで人ひとりが通れるのがやっとです。その道を年寄りを抱えて避難をするというのは到底無理な話だろうと思います。1本ブリッジラインに上がる道があるんですけども、ブリッジラインは災害時には緊急道路として市の方がご利用になられると思いますので、その道には避難をすることはできないと思っています。また後で詳しい地図を提出しますが、できれば車両を使って避難できるような道路を作って欲しいと。そういうことで、私どもの地区では昭和60年、1985年にですね、避難道あるいは緊急車両が入るための道路を作って欲しいという陳情をいたしまして、今日まで私が土木（委員）に就任しまして今3期目ですけども、度々市の方にとっておるんですが、いまだ前に進んでおりません。できれば避難道、車両を使って山の中腹に逃げられるような避難道を早急に作っていただきたい。既に測量は一部進んでおりますので、後は多少の費用はかかりますけれども一考していただければ可能かなと思っています。ですが、実施可能かなと思うといろいろ不具合が発生して進んでおりません。既に35年ですよ。

### 《市長》

なるほど、まず避難道路等の考え方なんですけれども、もともと地元のご要望があつて、それで本当にそこに道が作れるのかということで、実際に協力をしていただけるのかどうかという事とか、それから全体の道の配分とかあるんですけど。それで、もちろん計画を作ることはできるのかもしれませんが、あまりにも多くの居住していらっしゃる方がいらっしやったらなかなか現実問題進まないということもあるかもしれませんし。（Cさん：その部分についてはですね、山地ですので、土地の提供は皆さん快く承諾していただいております）山の方ですか、後からちょっと詳しく教えていただければと思います。

それからさっき言われた、一つにはもちろん道路というものもあると思うんですけど、玉島地区には避難ビルというのはあるんですかね。災害時の避難のビルの指定をしている所は近くはどこがあるんですか。というのは、水島地区は海拔が低いので、例えば商店街の近くにある所で、3m以上の建物、商業ビルであるとか、ホテルであるとか、例えばパチンコ屋さんの（屋上）駐車場とか、そういう所が市と協定を結んでもらって、津波が来た時に山まで逃げられない時に、そのスペースに、本当だったら用事がなかったら入れないんですけど、上がっていいですと。そのビルの建物には「ここは津波の避難ビルで

す」というしるしをして判るようになっていのもだんだん出ているんです。例えばそういうのも検討したらいいかなと思ったんですが。(Cさん:残念ながらそういう高い建物は無いんです) ないですかね。検討してみましょう。ありがとうございました。防災の関係の事でほかにありますか。

### 《参加者Dさん》

私は心臓をやられまして、身体障がい者です。障がい者はいろいろいらっしゃいます。で、私は上成学区で、上成小学校の体育館へ避難するように指示されております。ところがその避難所、体育館を検分しますと、まずその場所へ上れない。上る場所を変えると段差があつて車いすは通れない。体育館へ行くと、すごい階段で、13段以上の階段があつて元気な人でも上れない。その避難所の体育館の中に入ると車いすの人がトイレを使えない。それで校長先生にお聞きしますと何の備品もない。そういう実態でございます。「市の方から指示が来ますと、私(校長)が一番に参ります」と。「だけれどもそこから先は全然わかりません」と。「毛布が来るんやら何が来るんやら、全然聞いたことありません」と。私たち障がい者には、市の当局から言われたのは、障がい者は健常者と一緒に第一義的には、上成小学校の体育館に行ってくださいという事です。そうすると、障がい者と言いましても、多岐に渡っていますから、そこに専門家が、保健師さんなんかいろいろ指導をして「貴方はあっちへ行きなさい。貴方はこっちへ行きなさい」というふうに指示をしますから、取り急ぎ上成小学校の体育館へ行ってください。で、そういう事も校長先生はご存知なくて、それよりも大前提として、東日本大震災の時にも、障がい者が困って健常者に大変迷惑をかけることになって、そのために法律を平成25年6月に災害対策基本法を改正いたしまして、避難所における生活環境の整備を、急いでやるようにという活字がありまして、私はその活字を読んで、市はどうなっているのかなと、進み具合をお聞きしたいと思います。

### 《市長》

避難場所における障がいのある方の対応という事ですけれども、今言われましたように一義的には、その学区の方は、その小学校が津波の来るよりも高い所にあれば、そこに避難していただく。そして、そこから長期化してくるようであれば、例えば、特別養護老人ホームなどの保健施設の方に行っていただくということで、受け入れの調整を市がするという事になります。その中で、トイレについては、まだ全部の体育館に多目的トイレとまではいっていないんですけれど、23年度までに全部の小学校の体育館に、耐震化は全部済んでいますので、地震については小学校中学校の体育館は大丈夫です。それでこの27年度までで各小中学校の建物自体の耐震化は済んでいますので、建て替えているところは別ですけれど、建物自体は崩れることはありません。それで、高いところにある階段とかもちろん個別の問題もありますし、それから一義的には学校の教室ではなくて体育館に逃げさせていただくことになりますので、そこで洋式化はしたんです、全部。ただ、全部多目的になっているかというスペースの問題もあつて、まだできていないという事になります。ただ、長期化してきましたら当然学校の多目的トイレも使えるようにするようになっていきます。

それともう一つ、地域でご検討される場所があればと思うんですけれど、届出避難所

という仕組みがあるんです。聞いたことある人はいらっしゃいますか？はい6人ですか。一義的には小学校なんですけれど、そこに行くまでに、例えば避難経路に石とかそういう物があって、避難所までみんなが行くことがなかなか難しいだろうと思われるところについては、町内の集会所とかを届出避難所として市の方に申請してもらいまして、本来の避難所との関係を市の方が見まして、学校まで行っていたら逆に危ないと、そちらの集会所の方がいいという事になりましたら、そこを届出避難所として指定をするということができるとい仕組みもあります。そういう事もあるのかなと思いますけれど、ただ障がいのある方向への施策にはちょっと今なっていないんです。障がいのある方向への施策は、一義的には小学校に行ってもらって、そこから障がいなどの状態に応じて場所を配分するというふうになっておりますので、まだまだ解決すべき課題は多いと思いますが、そういうふうになっております。(Dさん:その体育館に上れないわけですよ) 小学校の場所によってそうですよね。(Dさん:ぜひ担当課に見てもらってください) わかりました。それから、小学校の先生方が仕組みとかをよく理解していないといけないので、教育委員会の方から校長会とかの時に、避難の手順などをもう一回よく研修してもらおうようにします。ありがとうございました。

#### 《参加者Eさん》

乙島小学校の学童保育の教室の事について、現在第1教室が36名、第2教室が42名、合計78名が毎日放課後一生懸命勉強しています。で、2つ教室があるいうても1つのプレハブの教室なんで90.72㎡しかないんです。これを78人で割っちゃうと、児童一人当たり1.16㎡しかないんです。今度、全国の基準㎡が1.65㎡になったと思うんです。(市長:上がりましたよね)それを80名で掛けると132㎡要するという事なんです。実際不足分として41.28㎡不足しています。これを割り算すると、基準㎡の70.3%しかないんです。一週間前ですかね、先生。こちら●●先生といいます。一生懸命頑張ってくれています。来年度は93名です。(市長:通う予定なんですか) はい。それで、これは市長さんのおかげで、ハーバーアイランドにどんどん企業が来られて、若い子ども、本当に国の宝である子どもが増えつつあるんです。ありがたい事だと思っています。だけどころこういうふうな、お父さんも仕事に行く、お母さんも仕事に行く、だから学校でこれをまかなわなきゃいけないという事になっちゃうと、来年度は93名来られるんです。もっとも㎡数が足らなくなるんです。そういうことで、よろしくご検討のほどお願いします。

#### 《市長》

はい、ありがとうございました。学童保育の充実の方は、市としてもしっかりやっていたかなければいけないと思っております。それで、面積の方ですけど、基準を満たすような方向に持って行こうと、なかなか一挙には難しいんですけど、あと学校の協力も要るんですが・・・、あ、先生ですか。では先生どうぞ。

#### 《参加者Fさん》

乙島小学校のFと申します。実は子育て支援課の方から今の現状のお話をお聞きして、学校として何か協力できないかという話をいただきました。本来であれば、どうぞどうぞと、教室がありますから使ってくださいと言いたいところなのですが、実は今一番キッ

ズさんに近い教室の方が、今年より通常の教室になりまして、その部屋を学童に使う事は不可能です。となると、今の現状でいうと空き教室がありませんので、方法としては今使っている特別教室を一時的に使うようになると思うんですが、そうすると2階3階の教室で安全面から考えるとすごく心配だなという事を子育て支援課の方ともお話をさせていただきました。本校の場合一番助かるいい方法は、土地はいっぱいありますので、もし可能であれば、早急にプレハブを増築ないし新築の方向で話を進めていただくのが子どもの安全面から考えても一番いいのではないのかなという事を子育て支援課の方ともお話をさせていただいたのですが、なかなか難しいですよというお話をいただいていますので、ご検討いただければありがたいかなあと考えて今日来させていただきました。

### 《市長》

学校の協力という意味で、今後の学校の子どものさんの人数の推移にもかかってくると思うんです。市の方もいくらでも予算があれば全部プレハブを新設できればと思っているんですが、なかなかそうはいかないもんですので、とにかく最大限学校の方からの協力をまずいただいて、それが難しい場合には近隣の施設、一軒家とかでもし空いていて使わせていただけたらいいところがあったら、そこに協力を求めてという順番になってきているので、そのあたりも含めて。ただ78人が93人という事になったらもちろん狭い訳ですので、それは何とかしないといけないと思っています。例えば上の階と下の階と換えていただくようでしたら、学校の方にも費用が発生するでしょうから、そういうことを相談するとか、とにかく教育委員会の方とまず市役所の中で相談して、で、教育委員会と学校の方と三者で相談してもらえるようにと思っていますので。わざわざ先生に来ていただいて、どうもありがとうございました。

### 《参加者Gさん》

昨年の2月8日の日曜日に16時50分ごろ市長さんが、産業課の方と玉島支所の方を連れて、乙島東地区に産業通りを挟んで東西に田んぼが有る所へ水を引くわけなんです、Cさんとか●●さん、土木とか門樋の関係の方が市長ともども視察して、大変大きな門樋なので、手で2人で門樋板を引き上げるのに非常に困難だということで手動式の門樋を設置してあげますよということで、視察に来られた時にお願ひして、なかなか付かないなと思って、今日見に行ったら、既に工事が始まっていました、ありがたいことに。(市長：地元にちゃんと行ってから工事をするように言ったんですけど・・・すみません)非常に寒かったんで、市長さんも「寒い、寒い」と言われとったんで、これは是非付けてもらえらると思ってたら、なかなか設置するような気配がなくて、お尋ねしようかなと思ってたら既に工事が始まって基礎が出来て、市長さんは1ヶ所だけだと言われたんですが、3ヶ所につくように今工事をやっています。ですから来年の田植え時期には門樋の当番の方は大変助かるのかなと、1年9ヶ月待った甲斐がありました。ありがとうございました。

### 《市長》

もちろん私も覚えております。とても寒かったですし、そんな中で皆さんがずっと案内をしてくださり、何よりもあの中で手動で板の上げ下げをやってくださるというのは、水

路に落ちたら困りますし、皆さんが腰を痛められても困りますので。あれが去年の2月ですから26年度の最後だったんで、27年度の予算で準備をするようになったんです。そこから鉄の部分を作らないといけないんで、発注して作ったりでちょっと時間がかかりましたが、田んぼの時期が終わって11月ぐらいに付けるということで聞いてたんですけど、すみません、連絡してなくて勝手に付けてごめんなさい。この冬の時期に今年は3つ付けて、それで地区を順番に皆さんがご苦労いただいている所を計画的にやっていこうという思いでおりますので、いっぺんにどこまでできるかわかりませんが、とにかく今年は3つ付けるようになっておりますので。来年の水の時期までにはちゃんと使っていただけるようになると思いますので。本当に水門の管理の皆様には感謝を申し上げます。

### 《参加者Hさん》

乙島祭りの事務局と会計を長いことさせていただいております。今年も乙島祭りにご出席をしていただきまして、大いに盛り上げていただいて応援していただいて誠にありがとうございました。おかげさまで本当に盛大に行われました。当乙島地区は青年団をはじめ子若、中老、町内会、婦人クラブ、地元企業の皆様が一致団結して道掃除、駐車場の草刈り、祭の後の掃除等をしてきています。この乙島祭りを支えてきています。これはまさに地域の力だと。また、玉島警察署、玉島消防署、玉島交通警察協助員、玉島東中学校の先生とPTA、街商組合、自主警備の皆さんにもご協力をしていただいております。私ども保存会として、巡行時間の時間厳守はもちろんでございますけど、倉敷市重要無形民俗文化財として恥じないように駐車場の整備、簡易トイレの増加、ガードマンの増員、観客の安全誘導、大型照明の確保、ゴミの減少に心がけております。特に駐車場につきましては、地元の町内会、青年団、町内会長等で100人体制で草刈りをさせていただきました。もちろん市の方の応援もありまして、ゴミの袋、あるいは環境衛生の方から次に日に取りに来てくださってありがとうございました。また、ゴミ対策としまして境内に40個、周辺に60個、合計100個の90リットルのゴミ箱を用意しました。それから今警察の指導もありまして、駐車場から境内までがちょっと離れております。そこをバリケードで区画して安全誘導を図りました。そういうことで非常に費用がかかります。この費用が今どうなっているかと言いますと、地元28の町内会の皆さんにお願いする。戸島神社青年団の皆様も多くのご負担をいただいて、残りを地元企業さんをお願いをしています。この地元企業さんには非常にご無理を言いまして26年度は40社、27年度は60社、今年28年度は110社の企業にご協力をいただきました。ところが実は赤字になっております。26年度は20万、27年度も17万、28年度も同程度の赤字が予想されております。私、会計といたしまして是非、倉敷市に例えば何々財団の何々基金とか何々助成金というものがあれば、申請をしたいと思っておりますので、後日で結構ですからご紹介していただけたら非常にありがたいと思っております。例えば倉敷市の観光協会等の対象になるのか、そういうことがもし担当部の方に調べていただいたらありがたいと思っております。以上、乙島祭りが地域の一致団結の要であって、伝統ある行事を傳承いたしたいので、是非ご検討の方をよろしく願いいたします。

### 《市長》

はい、ありがとうございました。にわかには何々財団と思いつかないんですけど、市

自体の補助金では、なかなか難しいかなと思いますが、いろいろ調べてみます。それで毎年の分じゃなくても例えば文化的なものを応援している外部のものなどがあれば、それに応募して何かしらでも補助してもらえれば少しはお役に立つところもあるかもしれませんので、調べてみたいと思います。地域の皆さん、青年団の皆様をはじめ多くの皆さん、婦人部の皆さん、役員の皆さんたちが頑張っていたいるのを心から感謝申し上げます。重要無形民俗文化財ですので、続いていくようにお願いしたいと思います。

### 《参加者Ⅰ》

市長さんには平成22年、6年前にもここで同じようなトークをさせていただいて、町内は産業道路から北の所の300世帯で生活をしておる所であります。今日質問させていただきますのは、選挙の投票区の範囲のどこなんですが、ちょうど堀貫は大半がこの(玉島)東公民館で投票しております。(市長:投票所ですね)投票しておるんですが、民家が、農家が転地したのが非常に多かったものですから、三々五々家が建ちましたのが、堀貫に入れてくれとかいうようなことで、(玉島)東小学校の校区の方も20名30世帯ほど、まだこちらの東公民館が使えなくなっております。私も会長が4期目に入っておるんですが、平成25年の時に一部は訂正してもらいました。こちらに入ったんですが、あと30世帯ぐらいはまだですので、選挙が終わった都度、何とか方法はないかということで、選挙管理委員会へ行ってはお願いしているということでもありますので、仕事が落ち着いたら本庁の方へ行くつもりでありますので、よろしくお願いします。(市長:何年か前に一部は移ったんですか)そうです。25年に日ノ出町の方の方が1世帯と上成小学校の方の関係で12世帯が入らせてもらいました。それで東小学校区の方が30世帯あるんですが、非常に高齢化しまして、ハローズくらいまでだったら買い物に来れるけどそこから先はスタミナがないので、できたらこの東公民館の方に変えてくれないかと言っておりますのが、9年越しになっておるといようなことになっておりますので、ご配慮のほどお願いします。

それともう一つ併せて立会の時間の件ですけど、市長もよくご存知のように6時半以降ぐらいでミーティングがあって7時から立会しまして午後8時まで13時間を超すみたいな形でやっておりまして、だんだん高齢化してその時間を立会して務めるのが難しくなりました。したがってその全体的な時間の短縮、その前提としては期日前の投票もしっかりやってもらっておりますので、せめて10時間か9時間ぐらいで収められるようにしていただければ大変ありがたいです。お願いしたら国だ、県だといろいろあっちこっち言われまして、その都度あっちこっち電話するんですが、どうも要領を得ない。まず地元のところをしっかりと押さえてくださいねというのが国であり県でありといようなことになりましたので、そのあたりも併せて検討していただければありがたいです。

### 《市長》

ありがとうございました。投票所の区域のことは、前回の時は13世帯ぐらいですか、移ったということですが、実際に投票される方の地区の合意があるんじゃないかと思えますので、地域での合意と選管での手続きになろうかと思えますので、前回も変わることができたということはちゃんと整えば変われるということになってくるかと思えますので、選管の方と相談をさせていただければと思います。

それから立会の時間ですか、それとも投票時間のことですか、どちらのことですかね。

朝7時から晩の8時まで。(Iさん:時間が長すぎる。前半と後半と交代できればいいのに。12時間しんどいから6時間ずつに) あれは立会いの(投票)管理者と補助の方(投票立会人)で、たしか補助の方は代われると思うんですけど、管理者の方はダメじゃなかったかな。自分の選挙も今年あったんで、皆さんが投票されている時間をちょっと前に聞いたことがあったんですけど、岡山県内では町村とかは(投票時間が夕方)6時までの所があるのは皆さんご存知だと思うんですけど、岡山市とか倉敷市は8時までで長いわけです。それで夕方どうなのかなと思ったんですけど、5時以降で全体の2割ぐらいの方が投票されているみたいなんですよね。それを短くするのはなかなか難しいのかなと思うんですが。管理者の方の時間の分割ができるのかどうかをちょっと聞いてみますが、法律とかで決まっていたら難しいかもしれないんですが、補助の方はできると聞いたことがあるんですけど、管理の方はちょっと難しいようなことも……。ちょっと調べてみます。

### 《参加者Jさん》

交流センターの美術展示室を使って、今交流センターができて4年半ですか、3度ほど美術展示室を使って展覧会をさせていただきました。今年の8月は新・玉島の玉コンテストといって、玉島の玉というのが西爽亭に●●さんの所に昔から、1600年代の頃にある玉島の玉という石、丸い石が2つあるんですけど、その名前をちょっとお借りして美術に関するものの展覧会をさせていただきました。昨年の4月には玉島乙島城岡の辻町内作家展というので加瀬野造船所のお孫さんが機帆船の模型を作っています。私は彫刻をやっています。2軒隣に備前焼の作家がいます。城の出身で家具を作っている人もいます。彼らの皆の作品を集めて展覧会をしました。というのは、玉島も乙島も捨てたものではないだろうというのを私個人の主催でやらせていただきました。それで今回、私が今気にしているのは、皆さんにも(写真をプリントしたものを)お配りしたんですけど、交流センターに海洋資料館があります。機帆船の模型を作っているお父さん、▲▲さんが新幹線の改札の所にもありますけれども、北前船があります。その隣に玉島では忘れてはいけない高梁の松山藩から高梁川を上り下りしてきた高瀬舟というのがあるんですけど、実に寂しいことにダンボールで高瀬舟の模型が展示されています。形を成していません。大きさを表しているだけで、それで私たちは今度■▲さんが作ったこの高瀬舟をダンボールでできたところへ現実の高瀬舟を展示したいという運動を起こしています。市制30周年記念で○○君が企画書をたてて倉敷市に申請していますけれども、今日は市長さんとお話ができるということで(写真をプリントしたものを)持って来たんですけど、これにあるとおりに長さが110cm、幅が17.5cm、15分の1の高瀬舟なんですけれども、下にあるとおりに槽もミニチュアがあり、高瀬舟でこちらに下ってくる、上って下って来る時にやはり食事をしないとイケないんで、羽釜、七輪、そういうものも全部作って万全の態勢で高瀬舟を作っておりますので、30周年記念に記念してこれを是非、海洋資料館の実に恥ずかしいダンボールのそれも形を成さない大きさだけを示す形の高瀬舟に代わってこれを展示していただきたい。よろしくお願いします。

### 《市長》

分かりました。お話をお伺いして、ありがとうございました。ダンボールだと知りませんので申し訳ありませんでした。高瀬舟の大きな方はちゃんとしている分で、作っているの

は北前船の。(Jさん:そうです)分かりました。ありがとうございました。

#### 《参加者Kさん》

東元浜におりますKと言います。私は地域の老人クラブとかサロンに入っているんですが、サロンの件で市から3万円のお金をいただいているんですが、これが会計されている人とかみると、ものすごく面倒くさくて会計処理が大変だと。こういったことの会計の制度が、もう少し簡単にならないんだろかなあと。3万円でしたら月にしたら3千円弱なんですよ。面倒くさいから自腹切ってでもいいわという気になるぐらいのものなんで、その点はもう少し考えていただきたいなと思います。

それともう一つ私は岡山県健康生きがづくりアドバイザー協議会の事務局長を9年ほどしてるんですが、その中でも健康長寿を目指しているんですが、先ほど市長さんも健康長寿ということを言われたんで。ちょうど倉敷市が50周年記念で市民発案事業というのをやって、100歳大学、この前ちょっとだけ話をさせていただいたんですが、それを是非倉敷市でやっていただきたいというのと、それからもうひとつ健康マーチがありますね、倉敷市が作ってる。(市長:健康くらちゃんのですね)健康くらちゃんでも私、活動してるんですが、この前それも出したんです、発案事業で。その時に受付の市の職員に健康マーチ知っておられますかと聞いたら、知らないと言われるんですよ。せっかく365歩のマーチのメロディに載って非常に楽しくできる体操なんで、これをもっと倉敷市全体の健康づくりのために広めるような方策を考えていただければありがたいと思っています。よろしくお願いします。

#### 《市長》

ありがとうございました。サロンの会計処理が詳しすぎるという、そういうお話をいただくこともあります。なるべく見直しを検討してもらおうと思っております、私も。ただ、市の補助金のどうしてもしていただかないといけないところもあるかと思っておりますので、双方がちゃんとわかるような範囲でなるべく簡便にできれば、皆さんにご負担かけないで活動していただければと思っておりますので、見直しの検討してもらおうようにとは思っております。

そして、健康の関係で、健康マーチはあんまり浸透していないですかね。そうなんです。もっとしっかりPRするようにですね。来年の2月1日が児島・玉島・倉敷の50周年ということになりますので、来年1年間いろんな50年の事業とか冠の事業とかもついてくるんですけど、そういうものも出てきますので、もちろん3市、3地区合併ということもあるんですけど、やっぱりこれまでの50年の歴史を振り返って、それから、これからの50年の、100年に向けてどういう地区とかまちづくりが必要なかっていうのを皆さんが思っただけのようなものにできればと思っておりますので。その中に健康とか長寿の事、子育ての事とか欠かせない事だと思っておりますし、また地域の文化と誇りの醸成というんですかね、そのあたりは重要なところだと思っておりますので、今担当部局の方で検討してくれていると思っておりますので、また拝見させていただきます。ありがとうございました。

#### 《参加者Lさん》

しと申します。倉敷市を学園都市、若者のまちにしていけないといけない。それは海外から現存の大学へ留学生を招いて、空き家を用意しまして、シェアハウスとかホームステイのようにしていただいて、高齢者の方にそのお世話をしていただいて、どこへ行っていろいろな外国の言葉が聞こえるようなまちにしていだきたいと思います。

農業なんかがありますから、果樹とか習いたいって方おそらくいらっしゃると思います。特に若い人が来ていただくと、いいです。私の経験からするとシェアハウスとか、家を借りるのが一番難儀ですから。だから、そういうのを簡単に借りられると学生さん来やすいと思います。

### 《市長》

今、海外の方ばかりじゃなくて、日本の方を東京とかから移住してきてもらうように、まずそれを進めたいなと思っているんですよ。倉敷市内も人口がどんどん増えてるばかりじゃないですから、玉島で桃とか農業をしたい人とか、環境がいいから、東京は混みますし、こっちへ来てもいいという人を今、全国地方創生ですけど、全国の中でもこの倉敷市は安全だし、天候もいいしということがあるんで、なるべくこっちに来てもらいたいというふうに思っているんです。例えば1回大学で東京に行って、そのまま大学が就職の斡旋をする時に東京の会社ばかりに行くんじゃないで、地元の方とかせめて大阪とか神戸とかこのあたりまで帰って来てもらって、というような施策に取り組んでまして。そんなにすぐパッととはできないんですけどね。倉敷市、それからこの高梁川流域で、みんなで移住定住のパンフレットとかも作っているんですよ。倉敷市だけじゃなくて、浅口とか総社、高梁とかも全部移住の分を一緒に作って、それを東京で5000部とか配って、一つだけよりも何市もあった方が皆さん選び甲斐があるじゃないですか、そういう施策も今していますので。倉敷市内でも、例えば児島地区とか人口が減ってる地区は、そういう移住の方を優先的に児島に紹介してもらいたいという地区も出てきているような状況で。(Lさん：はい、わかりました) 頑張りたいと思います。海外の方もいきなり移住は難しいかと思うんですが、学生さんとか観光客の方を来てもらえるように、まずは、と思っています。ありがとうございました。

あと5～6分になってきましたが。じゃあ、1回目の方がいらっしゃらなかったら(2回目の方)お二人ですね。

### 《参加者Dさん》

玉島全体の問題ですが、公共交通が、自家用車社会になって乱れてしぼんで、その挙句の果てが玉島ではいっぱい交通空白区、移動難民が増えていっております。私、その公共交通の委員の一人、利用者、身体障がい者の代表でお世話になっております。お年寄りと障がい者が移動難民になると。ほかの人もなりますけど。それで玉島があまりにも交通空白区が多くなってバスも通らない、そういう実態になって、いろいろ市の当局と一生懸命、今勉強を重ねて、来年の3月31日までに国交省へ成案を出して、やろうということやってるんですけど、問題はここで市長さんをお願いと訴えをしたいのは、市の職員さんはどうしても既存の財源の中から生み出そうと、こういう考えですから。民間のバス会社も入ってきますけど、儲からんところには撤退してるんですから。それを膨らます言うたってどこかが応援して、公共交通ですから。一番応援しなきゃならんのは国交省だろうと

思いますが、一番財源のない市と我々住民にそういうしわ寄せが来ておると。この場ではご返事よろしいですから、どうぞ市長の英断で玉島の移動難民、それで、玉島は東西の道に車の移動ができなくなりました。南北しかありません。したがって交通空白区、移動難民、これを間もなく消滅部落になりますから、是非とも市長の英断を持って、ビジョンを。これはもう要望だけで止めます。

### 《市長》

ありがとうございました。今、市内も倉敷地区の方の駅のあたり、中央病院とかのあたりは循環というか少しあるんですが、ほとんど倉敷地区も児島地区もそうなんですが、縦なんです。なかなか横のがないんですよね。それで、縦すらも事業者の人は撤退をしてくてるので、倉敷市としては、ここ数年、実は、利用者の方にはなかなか分からないんですけど、なるべく撤退しないような補助金というのを、事業者、両備さんとか下電さんとかに、撤退しそうなところをもうちよっとなんとかというところまで補助金を出して、一応これでも繋ぎ止めている状況ではあるんです。ただ、横のラインはなかなかないというのが現状ではあるんですが。ありがとうございました。

### 《参加者 G さん》

9月に小学校、中学校の全国の学力テストがあって、小学生が47都道府県で44位から24位になっています。1位の県が3県あって。(市長：さっき紙いただきました。これに書いてあるんですね)中学生は全国47のうちの42位ですかね。全国で42位と。前45位からわずかに上昇したということで。県とか倉敷市で義務教育における基礎学力の低下は、大変大きな問題であろうかと思います。今の小中学生が高校、大学を出て一般社会で他の県の人と臆することなく働けるような基礎学力の定着を図って学力の向上を目指すことが必要ではなかろうかと思います。9月29日なんですが、テレビを見ていたら、倉敷市の小学校の算数の授業風景が映って出て、私の近所の先生が画面にぱっと出てきたんですね。その先生は、30歳前後の先生の教え方がいいのか悪いのか参観しながらチェックしてました。で、後で教えている先生にコメントを入れたり、司会をされていたアナウンサーの方といろいろお話ししていましたが、簡単な問題を小学生に出して説明していたんですが、 $4 \times 4 + 3 \times 3 =$ 、この式の答えを求めなさいという例題で黒板に書いて説明していましたが、質問を受けることは全然なしに、一方的にこういうふうに計算しなさいというような教え方していたんですが、学力テストのベスト10へ東京都を含めて7県ほど、小学校も中学校もベスト10に入っていますね。山口は非常に岡山県と同じように下の方だったんで、学校の先生を石川とか福井とかそういうところへ参観に行かせて山口はベスト10に入ったというようなことを何か書いていました。倉敷市でもそのようなことをやられたらどうか。今後の課題としてよろしくをお願いします。

### 《市長》

ありがとうございます。倉敷市の子どもたちの学力のことについて、地域の皆さんが心配していただいて、もちろん学力の事だけじゃなくて、安全のこととか含めて関心を持ってサポートしていただいていることに本当に感謝申し上げます。もちろん市として頑張りますけれど、一方で今の知事さんが全国10番に入るというのを目標に掲げられまして、

今のところ42番と、小学校はちょっと上がってきたと思いますけど、まだまだかなり行く道は遠いんじゃないかと思います。それで、私がいつも教育長とかと話をする時には、とにかく基礎・基本をちゃんとやっからいかないといけないということで、まだ各学校の方が例えば秋田とかに見学っていうんじゃないですけど、教育委員会の方がまず見学に行っているという段階までにはなってます。ただ、教員の先生のことですので、一義的には岡山県がしっかりやってもらわないといけないんですが、なかなかまだあんまり進んでない状況かと思えます。現場では頑張ってくださってるんですけど、なかなか一朝一夕には成績は出ないのかなとも思っております。各先生は一生懸命頑張ってくださいっておりますので、倉敷市ができるのは、今ほかの岡山市とかと比べても支援員の先生というのを多く配置をしまして、子どもたちが落ち着いて授業を受けてもらえるような環境づくりに努めているところですので、引き続き皆様のご協力をお願いできればというふうに思っている次第でございます。

ちょっと時間が過ぎまして、8時5分になってしまいましたけれど、以上で、今日のお話とさせていただきます。どうもありがとうございました。